

平成30年度 函館看護専門学校
学 校 関 係 者 評 価 委 員 会

1. 開催日時： 平成31年1月28日(月)AM10:00~11:00
2. 開催場所： 函館看護専門学校 会議室
3. 開催時期： 毎年8月頃 (年1回の開催)
4. 委 員： 宮 岡 秀 昌 (函館大学附属柏稜高等学校 校長)
岩 田 明 美 (函館渡辺病院 看護部長)
辻 ゆかり (函館市医師会病院 看護課長)

学 校： 野 又 淳 司 (函館看護専門学校 校長)
深 川 知恵子 (函館看護専門学校 副校長)
太 田 希 子 (函館看護専門学校 教務主任)
岡 田 邦 宏 (函館看護専門学校 事務長)
5. 内 容： (1)学校関係者評価委員会の趣旨説明
(2)平成29年度自己点検評価報告書の説明
(3)質疑・応答
(4)評価・意見交換(改善意見、助言等)

学校関係者評価委員会 自己点検・自己評価報告に関する評価・意見

項目	内容	平均評価	ご意見・今後の課題
I 使命・目的等	A 教育理念・教育目標 1.教育理念 2.教育目的 3.教育目標	5点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療に貢献できる人材育成という目的も明確で賛同できる内容である。 ・協力関係にある病院・施設との連携については、運営委員会を設置し定期的な会議の開催を行っているなど、方向性・考え方も理解できる。今後も臨床現場の動きに応じつつ、具体化して取り組みを行ってほしい。 ・実際に行われている臨床指導者会議などの取り組みも、教育の状況報告を行うという意味で重要。 <p>○教育理念・目的について、今後は運営会議等を通じて、協力各機関など対外的にも行っていきたい。</p>
II 教育活動	A 教育課程の編成 1.教育課程の編成 2.教育課程の実施計画 3.シラバスの整備	4.3点	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の見直しを毎年行っていて、シラバスも改善するなど丁寧に取り組まれている。 ・非常勤講師の派遣については病院としてもなかなか協力が厳しく、すぐには改善することは難しい。しかし、今後も学校側との連携を図っていきたい。
	B 教育課程の実践状況 1.授業の実施状況 2.臨地実習実施状況 3.施設設備の整備		<ul style="list-style-type: none"> ・授業の年度超過については、改善にむけての取り組みが理解できる。
	C 教育成果の測定 1.成績評価及び履修認定 2.看護師国家試験 3.就職・進学		<ul style="list-style-type: none"> ・就職状況についてだが、学校設立の目的には「地域の医療福祉の向上に貢献できる職業人を育成する」とあるため、実習病院への貢献度や、地域への就職の状況を示す資料の掲載があっても良い。 ・退学に関しては、高校側にも責任があると感じている。受験前に学生の意思を十分確認してはいるが、学生は気持ちの変動が大きい時期であり、今後も面談など取り組んでいきたい。 ・退学に関しては、能力的な問題のある学生が多いのか、能力があっても意欲的な問題があるのか等の分析を行ってはどうか。 ・退学者が多いのに驚いた。今後も実習を受け入れる立場として、教育に力を貸したいと考える。 ・教育の質の向上としても、どのような学生を確保したらよいかを考え、経済的な部分での負担を軽減する特待生制度などがあればよいのではないか。 <p>○今後も、引き続き教育課程の進行については学生の学習効果を考えて取り組みたい。退学者のほかに留年し、3年以上で卒業する学生もいる。力がつかないまま卒業しても就職先に迷惑がかかると考えている。学費の減免などの配慮も行い、時間をかけて育てている。今後も再実習など学習面でのサポートも行っていく。また、就職状況や退学者の分析等を、今後の課題とする。</p>

<p>III 学生に関する事項</p>	<p>A 入学者の選抜及び 広報活動 1.入学定員及び入学生 2.広報活動</p>	<p>4.3 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度の入学生が、35 人と定員割れをしているが、入試の際、学力が伴わないと退学につながる恐れもあり、やむを得ないのではないか。 ・市外からの入学者も多い。地元に戻る学生も多いのではないか。そのため、市内への就職が少なくなるのではないか。先を考えて入学生の確保も考えなければならないのだと感じた。 ・広報活動は、高校のキャリアデザインプログラムの取り組みをはじめとし、積極的に取り組まれているように思う。少ない教員数でも丁寧に行われている。 ・広報について、高校との具体的なやり取りや情報収集についてはどのように行われているのか。
	<p>B 学生サービス 1.奨学金 2.学生住居 3.学生相談</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の利用者数も多く、情報提供は十分である。 ・学生納付金に関しての記載がないため、補足するとよいのではないか。 ・宿泊研修等の行事などが少ない。他校の看護学校の話を知ると、行事を通してクラスの団結力の向上や人間関係の構築の効果が得られるのではないかと感じる。前向きに検討してほしい。 ・以前はスポーツ大会もあり、就職後も他校との交流や息抜きなどにもなっていた。そのような課外活動があっても良いのではないか。 ・広報に積極的に取り組んでいることが理解できた。 ・学生サービスに関して、以前は寮があったが現在はどうか。 <p>○入学者の減少については、少子化・札幌への流出などが原因である。対策として、教員が分担して高校訪問を行い、進路指導の教員と会って教育内容や情報交換を行っている。また、オープンキャンパスも行うなどしているが、対外的には事務長が各高校の訪問を行っている。今後も継続していきたい。</p> <p>学生納付金に関する記載は、今後補足の必要がある。</p> <p>行事に関しては、授業カリキュラムの正常化が優先度の高い問題であったため、そちらの問題を早急に改善に向けて取り組んでいたため、取り組みが遅れてしまったが、今後はご意見を参考にし、行事の見直しを行っていきたい。</p> <p>住居問題については、入学前の手続きの際に、下宿等の案内を送付し相談も受け付けている。少子化の影響もあり、下宿は入りやすくなっている。</p>
<p>IV 教員に関する事項</p>	<p>A 教職員組織 1.専任教員 2.兼任教員 3.校務文章・組織図 4.会議 5.研修</p>	<p>4.3 点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実習補助として、兼任教員（インストラクター）も確保しているとのことだが、教員の定員が必要最低数のため、人員が間に合っているか疑問である。実習先も多数あり大変ではないかという印象を受けている。 ・少ないスタッフで効率よく指導・教育されていると思う。その証と言えるのが、国家試験の高い合格率の維持であり、地域の保健医療福祉の向上に貢献していると考えられる。

			<ul style="list-style-type: none"> ・研修も行い、キャリア教育についても充実している。国家試験でも高い合格率を維持しているので、努力されていると感じた。 ・組織図・会議の実施等は、忙しい中でもきちんと実施されているため問題ない。 ・学生が看護協会主催の看護研究発表に参加する予定もあるようだが、学びの場を学内のみならず、公的な場に広げているのが素晴らしい。今後もそのような機会があればよい。 <p>○教員の人員確保については、女性の職場であり離職が多く、できるだけ、定員プラス1名の人員で確保するように努めている。実習インストラクターの教員が、実習の補助を行って対応している。今後も実習先との連携も図っていきたい。</p>
V管理・運営・財政	A 管理・運営 1.事業計画 2.規定の整備 3.法令等の遵守	4.6点	<ul style="list-style-type: none"> ・規定の整備は、年々古くなっていくものであり、見直しが必要。少しずつ見直しを行っていくと良いのではないかと。
	B 財政状況 1.会計処理方法 2.学費 3.補助金		<ul style="list-style-type: none"> ・財務、会計監査に関しても学園で取り組まれているので問題ない。
	C 情報管理・情報公開・危機管理 1.個人情報管理状況の実態 2.情報公開 3.危機管理体制		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の備蓄に関しては、柏陵高校も地域と相談しながら行っている。確保する場所等の問題があり、隣接しているため相談しながら、互いに融通しあえるとよいのではないかと。 ・災害時の備蓄に関しては、病院も取り組んでいるため興味深い。学校側としては、どのような状況を想定して確保しているか教えていただきたい。 ・災害時の物品として、ラジオ、ライト（ランタン）、電池なども準備が必要。停電時であっても、携帯電話のワンセグではTVが見れるなど、具体的なことは、なかなか起こってからでなければ想定できないが、今回の学びを活かして寒い時期の対応はどうするか等、普段から心がけ準備するとよいと感じた。 <p>○学園全体の取り組みとして、危機管理委員会を設置し、各学校1名を選出し対応している。災害時の想定は、学校に学生がいる状況で、1日分の食糧（乾パン）・水・簡易トイレ・毛布などを人数分確保している。今後も、様々な状況を想定して、備蓄品の充実を図る必要がある。</p> <p>法令の遵守に関しては、厚生労働省や指定規則に則り運営されている。数年前は指導調査で教育課程の進捗の見直しを行うよう指導を受けているが、改善に向けて取り組み、ほぼ改善している。</p>